

大槻電設工業株式会社・大槻商事株式会社

令和3年度「福島議定書」事業 新たな取り組み

適応分野の取組

カーボンニュートラルの実現可能を目指し「脱炭素」へ向けた自社の新たな取り組みとして、「SDGsへの取組み」を作成し「地球温暖化防止のために私たちができること！」を考え、「強い意識改革」とコミットメントが原動力となり課題解決に向けて行動することで、新しい未来を切り開きます。

自社の強みを生かした取り組みでは「災害時でも電気を止めない」の普及活動を実施しています。「ポータブル電源(蓄電池)」と、さらにソーラーシステムを活用することで災害時においても安定した電気を供給できる簡易的な設備機器の普及推進活動をしています。

その他、この設備を社内イベントのハロウィンにも応用し、省エネを意識した開催し、楽しむことができました。このイベントを来年以降も継続します。



「省エネ委員会」を通じて、防災教育重視したSDGsへの取り組みを始めました。

近年の気候変動等により、これまで経験したことのないような激甚災害が頻繁に発生していることから、「防災」を自分たちの身近な問題としてとらえ、自然災害の正しい知識を知り、災害時の取組みを主とした教育訓練を継続しています。防災意識を高め、地域社会に貢献できるよう努めます。

今年度から自社の「SDGsへの取組み」に関するメッセージボードを作成し、職員玄関に設置しました。

全社員へ周知することで、意識の向上を図っています。又、ホームページにも掲載しました。



重点分野の取組(新規)

新たな取り組みとして「子ども食堂」の運営支援にも協力を始めました。

引続き、「レジ袋削減」を目標に全社員にエコバックの利用推進に努めています。

プラスチック資源循環戦略」に基づいて、プラスチックゴミの削減と有効利用促進に努めています。



会社全体でメッセージボードを活用し、ゴミ減量に向けて、啓発活動と様々な対策を講じています。